

令和5年度第2回山武市子ども・子育て会議 会議録要旨

日時:令和6年2月14日(水) 10時00分～11時00分
場所:山武市役所 新館 第5会議室

出席者:委員 12人/20人 事務局 13人
委託業者(株式会社ぎょうせい) 3人
傍聴人:なし

進行:子育て支援課主幹
議事進行:会長

議事結果

(1)協議事項

第3期山武市子ども・子育て支援事業計画にかかる
ニーズ調査について ……了承

敬称略

1. 開会〔進行〕

会議成立の報告〔進行〕

(委員20名中12名出席。会議条例第6条により、半数を超えたので会議開催。)

2. あいさつ〔保健福祉部長〕会議趣旨・目的説明

〔子育て支援課長〕ニーズ調査概要説明

3. 議事〔会議条例により議事進行:会長〕

(1)協議事項

- 第3期山武市子ども・子育て支援事業計画にかかるニーズ調査について
事務局(子育て支援課「以下、省略」)より、以下の資料について説明。

資料1〔修正〕 山武市子ども・子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童の保護者用)

資料2〔修正〕 山武市子ども・子育て支援に関するアンケート調査(小学生の保護者用)

資料3 第3期山武市子ども・子育て支援事業計画の策定について

資料4-1 調査票対照表【就学前児童の保護者用】

資料4-2 調査票対照表【小学生の保護者用】

- アンケートの調査項目について

平成26年1月に国から示された『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』をもとにしており、基本的には、前回(平成30年12月)実施した調査結果と比較できるように調査項目を設定した。

- 主な変更点について

令和5年9月に『第3期市町村子ども・子育て支援事業計画等における「量の見込み」の算出等の考え方』が国から示されたことにより、新規設問として追加したものと質問の形式を変更したもの、市独自設問の追加などがある。

- 委員の皆さまからいただいたご意見等を反映し、修正した箇所について
 - Q 1. ページ数が多いため、最後まで答えてもらえるような工夫をしてはどうか。
 - A 1. 就学前児童の保護者用：11 ページ、小学生の保護者用：8 ページに、SUN ムシくんのイラストと吹き出しメッセージを追加した。
 - Q 2. 「なんともいえない」「どちらともいえない」など、中立的選択肢は不要ではないか。
 - A 2. 就学前児童の保護者用：18 ページ問 30、20 ページ問 34、小学生の保護者用：11 ページ問 20、13 ページ問 25 にある中立的選択肢を削除した。
 - Q 3. 就学前児童及び小学生の保護者用のそれぞれ最後のページの間 36 及び問 27 について設問中「ご意見」ではなく、「ご要望」の方が回答しやすいのではないか。
 - A 3. 「ご意見」の後ろに（ご要望）を追加した。
 - Q 4. Web アンケート方式を取り入れてはどうか。
 - A 4. アンケート実施まで期間がなく変更が難しいため、5 年後の令和 10 年度に実施するアンケートの際、回答方法として取り入れるよう調整する。
- 調査票発送数について

就学前児童 1,072 件、小学生 1,359 件、合計 2,431 件の保護者に対して、令和 6 年 3 月 1 日に配布予定である。就学前児童については、市立こども園等の各園で配布及び回収の協力をお願いしている。未就園児と小学生については、郵送対応となる。
- 回収方法について

就学前児童のうち在園児については、各園での回収を基本としているが、返信用封筒はすべての対象者へ同封しているため、郵送でも可能である。さらに、就学前児童と小学生の両方がいる保護者については、就学前児童の通園している園で、小学生分についても回収出来るようにした。
- 英語版の調査票の作成について

近年外国人の転入者が増加傾向にあるため、英語版の調査票を現在作成している。外国人の保護者から希望があった場合、英語版の調査票を配布する。
- 集計結果について

速報値になるが、5 月中旬頃を目安に通知でお知らせする。ホームページへの掲載も予定している。

●内容への質問、意見

就学前児童の保護者用アンケートについて

Q 1 [委員]

アンケートの回答には何分ぐらいを要するか。

A 1 [事務局]

回答者によるものであると思うが、担当者が実際要した時間は、就学前児童の保護者用が 30 分程度、小学生の保護者用が 15 分程度であった。

Q 2〔委員〕

調査の周知や回答を促すためのアプローチはどのようなものがあるか。

A 2〔事務局〕

ホームページへの掲載、「子育てアプリ さんむの子」を通じた登録者への周知のほか就学前児童の保護者については、各園の保育士等から周知や勧奨などを行っていただく予定である。

Q 3〔委員〕

アンケートに「子育てアプリ さんむの子」をダウンロードする二次元コードを掲載してはどうか。

A 3〔事務局〕

調査票の空いてるスペースを活用して、載せる方向で調整する。

Q 4〔委員〕

「回答には 30 分程度かかります。」など明記すると、回答者側が、アンケートを実施するタイミング（時間帯等）の都合をつけやすいのではないか。

A 4〔事務局〕

ご意見を参考とさせていただき、検討・調整する。

Q 5〔委員〕

「全部の設問に回答しなくてもよい。」など明記すると、回答・返送しやすくなるのではないか。

A 5〔事務局〕

『ご記入にあたってのお願い』部分に、「答えたくない設問には答えなくてもよい。」旨の記述を追加し、調整する。

小学生の保護者用アンケートについて

Q 1〔委員〕

保護者は両親またはそのいずれかという前提の調査内容となっているのが気になる。

A 1〔事務局〕

各調査票の問3において、調査の回答者に関する設問があり、母親・父親以外の選択肢として「その他」を設けているため、祖父母等の養育者についても、保護者としての立場で回答いただけるかたちになっている。

Q 2〔委員〕

回答した調査票の提出先として、小学校や学童クラブも含められないか。

A 2〔事務局〕

調査の時期が3月であり、6年生も調査対象であることから卒業式後において、小学校や学童クラブを通じた回収が難しいと判断した。そのため、きょうだい市立こども園等に通園している場合は、小学生の保護者用も提出できるように配慮した。

Q 3〔委員〕

プライベートな内容を聞く調査であるため、目的外利用をしないことや回答者個人が特定されることがないこと、無記名で良い旨の記述を強調してはどうか。

A 3〔事務局〕

強調するかたちで修正する。

Q 4〔委員〕

調査の目的や趣旨など重要な内容については、市長のあいさつ文に集約されており、網羅出来ているが、細字で目立たないため、太字にするなど強調してはどうか。

A 4〔事務局〕

強調するかたちで修正する。

Q 5〔委員〕

宛名の子どもの名前で、アンケートが届くのか。

A 5〔事務局〕

お見込みのとおりである。

Q 6〔委員〕

個人宛にアンケートが届くので、目的外利用や無記名という部分は、特に強調してほしい。また、回収率 50%の想定は前回の調査と同様なのか。

A 6〔事務局〕

強調するかたちで修正する。回収率については、前回とほぼ同様である。

Q 7〔委員〕

想定回収率が 3 割程度など低かった場合は、回答期限を延長するなどの対応も検討してほしい。なるべく多くの保護者の意見を反映できるように考えてほしい。その場合、今後のスケジュール変更等の対応は可能か。

A 7〔株式会社ぎょうせい〕

ある程度想定された回収を得たうえで集計を行う必要があるため、スケジュール等については、柔軟に対応させていただく。

4. その他

○その他質問、意見等

〔委員〕

今回の会議に関連していないが、現在成東学校給食センターが改築工事中のため、成東地区等の学校給食が仕出し弁当方式となった。子どもたちから、「美味しくない。」と聞いている。仕出し弁当になってから、「ご飯（白米）しか食べられない。」という子どももいるようだ。食に関しては、個人差が大きいですが、以前の給食と比べると「美味しくない。」という感想を持つ子どもが多く、完食する子どもが少ないと聞いている。今後 1 年半くらいで改築工事が終わるようだが、その間ずっと仕出し弁当になってしまうということが心配だ。食に関しては、小中学生の時期がとても大事なため、このままで良いのか疑問に思っている。実際に食べている小中学校の先生方や校長先生が、仕出し弁当についてどう思っているのか、予算の関係もあると思うが、もっと美味しいものに改善する方法を考えてもらえないかなど、一部の保護者から意見が出ている。「汁物等温かいものは温かい状態で提供してもらいたい。」「弁当持参を許可してほしい。」など、色々な意見が出ている中で、選択肢を増やす方法などをぜひ検討していただきたい。

〔教育部長〕

教育委員会では、仕出し弁当方式に変更してから「美味しくない。」という意見は、聞いていない。逆に「美味しい。」という意見を聞いている。やはり食に関しては、個人差がある。好き嫌いの問題はやむを得ないが、冷たいという意見については、今後委託業者と協議し、出来るだけ温かいものを提供できるよう検討する。

[委員]

学校給食センターの運営委員になっており、実際に給食を試食した。確かに冷たかったが美味しかった。ある委員から「電子レンジを置いたらどうか。」という意見が出たが、子ども1人に対して1分温めた場合、全員が温め終わるまでには、かなりの時間を要してしまう。そのため、現状では難しいと判断された。ある程度冷めても美味しいメニューにするなど改善方法はある。お金をかけたとしても美味しいものを提供できるとは限らない。温かいものについては、温度管理の問題もあり、弁当を運搬中に腐らせてしまっては困るので大変難しい。試食の際、委員の中には、「量が多い。」と残した方もいたが、「美味しくない。」という意見はなかった。また、メニューの中には、おにぎりは食べられないがパンは食べられる子、逆にパンは食べられないがおにぎりは食べられる子などがいるため、好き嫌いの問題改善から、おにぎりとおパンの両方が提供される日もあるようだ。前回の給食運営委員会では、冷めても美味しく食べられるメニューを検討し、改善していくとのことだった。

[委員]

偏食や好き嫌いなどで困っている子どもたちのために、弁当持参でも良い日を作るなど、選択肢を増やせるように学校全体で改善してもらえると良い。1年半という期間なので、子どもたちに我慢させても仕方がないが、ぜひ再考していただきたい。

○今後のスケジュール等について

事務局より、以下の資料について説明。

資料5 子ども・子育て会議及び第3期子ども・子育て支援事業計画策定業務スケジュール案

- ・アンケート調査票については、本日いただいたご意見等を検討し、反映及び修正を行い、再度作り直したもので、実際の調査を実施させていただく。
- ・次回の会議日程については、5月下旬から6月上旬を予定している。日程の詳細は、後日開催通知等を送付しお知らせする。

5. 閉会

会議終了